



浜松ハーモニーロータリークラブ週報

No.1008 2020.09.09 (水)

2020~21年度 RI 会長 ホルガー クナーク

Hamamatsu
Harmony RC
Weekly
Bulletin

会長挨拶

山口勝義

今月は「基本的教育と識字率向上月間」です。友9月号には日本の15歳年齢「読解力」は世界第15位と低下を続ける中でのロータリークラブの活動紹介が掲載されています。一方、さまざまな障壁によって質の高い教育を受けられない人は、世界中に大勢います。今年には特に、新型コロナウイルスの大流行により学校が閉鎖され、遠隔授業やオンライン授業が必要になるなど、地域社会がさらに多くの課題を抱えています。読み書きのできない15歳以上の人の数は、世界に約7億7500万人。これは、全世界の成人の17%にあたります。しかも、学校に通っていない子どもは世界に6700万人いると言われています。ロータリーは、地域社会が自力で学校を支え、教育における性差別を減らし、成人の識字率を高められるよう支援することを目標に、明日の变革を担う人材を育てるために、奨学金を通じて未来に投資しています。また、会員自らの経験と知識を生かしながら、社会的・経済的に恵まれない環境で教育に携わる人材を育成しています。そして、地元の教育者や支援団体と協力し、読み書きを指導するプログラムを通じて成人の識字率向上に取り組んでいます。これまで数十年、識字率向上の取り組みといえば、「就学を妨げる要因をなくす」「教材を提供する」など、子どもたちが学校に通うための支援が中心でしたが、今専門家の多くは「それでは不十分」と指摘します。生徒の学力を伸ばすには、まず授業で教える側の力を伸ばす必要があります。ロータリーのプロジェクトは「教える力」を高めることで、子どもたちの読む力を育てています。識字能力の向上は、より良い生活を送るための条件であり、将来、テクノロジーと自動化によって現代の仕事の半分からなくなり、教育、学習、スキル習得の重要性が高まる中、「極度の貧困を削減する」という大きな目標に向けた活動となっています。私たちの寄付金もこのような支援に役立てられています。また、ムンド・デ・アレグリア学校の奨学事業による奨学金支援も同様の意味があると思います。今年度は新型コロナの影響により、例年より地区補助金申請の承認が遅れ、支援が滞っていますが先行して一部送金することとしましたことをご報告させていただきます。



本日の会員リレー卓話は中島会員の「新型コロナウイルスとの付き合いかた」に急遽変更させていただきました。コロナ禍にあって、何かと不安が付きまとう日常において、最優先で皆さんにお伝えする価値があると判断しました。担当のクラブ管理運営委員会の皆さんのご尽力ありがとうございました。本日もよろしくお願いたします。

プログラム 「新型コロナウイルスとの付き合いかた」

中島千春会員

新型コロナQ&A

★どのように感染するか?→飛沫、ドアノブ、手すり目、鼻、口等

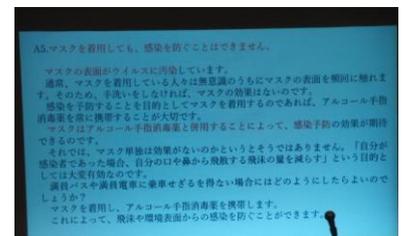
★典型的な症状は?→発熱、咳、味覚障害、倦怠感

★「感染者から1m以内にいる」+「感染者も自分もマスクを着用しない」+「15分以上一緒にいる」の3条件がそろって感染しやすくなり、これに、「叫ぶ、歌う、大声を出す」が加わると、感染のリスクが一気に増加します。

★濃厚接触した友人が感染する確率は5%ほどです。

★ウイルスの生存期間は?→3日ほどといわれています。

★隔離期間は?→症状がでてから10日経過し、かつ、症状が消失してから3日経過すれば、隔離する必要はないというのがWHOの見解です。



当クラブ例会のコロナ対策：
検温、手首消毒、マスク着用。
着席はスクール形式にし、食事中はおしゃべりをしない。
ロータリーソングは省略

幹事報告

次週例会、理事会のご案内



浜松ハーモニーロータリークラブ

〒432-8507 浜松市中区東伊場1-3-1 グランドホテル浜松内

Tel: 053-413-1782 Fax:053-413-1781 e-mail: hhrc@plum.ocn.ne.jp